

ありがとうございました
賛助会員様

株式会社 大垣共立銀行
イビデン株式会社
西濃運輸株式会社
太平洋工業株式会社
河合石灰工業株式会社
揖斐川工業株式会社
岐建株式会社
矢橋工業株式会社
サンメッセ株式会社
大垣西濃信用金庫
日本耐酸塗工業株式会社
岐阜倉庫運輸株式会社
大垣瓦斯株式会社
株式会社 ホンダカーズ東海
クインテッサホテル大垣
株式会社 大光
株式会社 三輪酒造
株式会社 アレックカワイ
オイダ額縫有限会社
ギャラリーはたの
金蝶園総本店
有限会社タケナカ商店・タケナカ文房具店
株式会社 大垣ケーブルテレビ
小菅巧芸社
医療法人 石泉会 和田医院
山川医
株式会社 箕浦
安田電機暖房株式会社
株式会社 エヌビーシー
株式会社 大垣自動車学校
株式会社 セリア
株式会社 小川紙店



大垣美術家協会

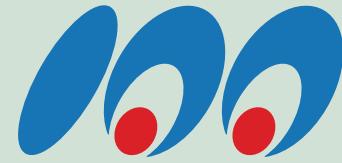
DAIBIKYO

2024 令和6年号

VOL.

65

大美協
会報



編集後記

令和6年の夏は、連日の猛暑で
なにもする気が起きました。
皆様はいかがでしたでしょうか。

本年、会報委員も一新し、見やすい紙面づくりを心掛けました。

皆様のご協力により無事発行する
ことができましたこと、お礼を申し
上げます。

会報委員

日本画……村瀬順子
洋画……小藪達也(副代表)
書道……早崎青仙
彫塑工芸……山口實(代表)
デザイン……吉田直弥
写真……水谷博光

[発行月] 令和7年2月
[発行] 大垣美術家協会
[印刷] サンメッセ株式会社



大垣美術家協会

大垣美術家協会HP
<https://ogaki-aa.art>



巻頭の言葉



大垣美術家協会 会長

境 敏幸

私たち大垣共立銀行は地域の文化芸術の発展を願い、平成23年大垣駅前に「OKBギャラリーおおがき」を開設し、様々な企画展を開催するとともに、地域の皆様にも作品展示スペースとしてご利用いただいている。

私には毎年楽しみにしている企画展があります。それは大垣市内の中学生を対象とした水彩画の公募展『ジュニア水彩展』です。昨年13回目を迎え、毎年20校以上の学校から1千点以上の応募をいただき、全作品を数回に分けて入替展示させていただいている。

私も入替展示のたびに足を運んで子ども

たちの作品を鑑賞させていただくのですが、一つ一つの作品の「テーマの着眼点」や「構図の切り取り方」が本当に面白く、思わずハッとさせられ、その発想に驚かされます。日常の世界から離れ、何か忘れていたものを子どもたちが教えてくれているような、そんなことを感じながら有意義な時間を過ごしています。

次の世代、特に子どもたちに美術・芸術に親しんでもらえるような活動を通じて、未来を担う子どもたちの豊かな芸術性を育んでいくとともに、大垣の文化芸術振興に貢献できるよう、会員の皆様の益々のご活躍を心からお祈りいたします。



大垣市長

石田 仁

皆様には、心新たに新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げますとともに、この度、「大垣美術家協会会報」第65号が刊行されますこと、誠におめでとうございます。

大垣美術家協会におかれましては、昭和34年の創立以来、60年以上の長きにわたり、「大垣市美術展」の運営協力をはじめ、文化フェスティバルでの「西濃美術展」の開催など、本市の芸術文化活動に格別のご尽力をいただいておりのこと、厚くお礼申し上げます。

また、今年度は「第66回大垣美術家協会展」の開催に併せ、貴会の特別顧問である土屋禮一先生を講師に、ご講演をいただきました。このように、本市にゆかりのある芸術家の皆様との交流を通して、芸術文化の普及と発展に寄与していただいておりますこと、心から敬意と謝意を表する次第でございます。

本市といたしましても、豊かな感性と創造性を育む「文化の薫り高いまち」を目指し、芸術文化事業の推進に取り組んでまいりますので、皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、大垣美術家協会の更なるご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



大垣美術家協会 理事長

久野 悟

会員のスマホ普及率は95%以上。そこで昨年度、60名の【理事会LINEグループ】を立ち上げました。会員による展覧会の紹介や会議の連絡等が便利になりました。

今年度は、新たに【大美協ホームページ】を開設し、その中の【NEWS】【Facebook】では会員による作品展等の紹介をしています。

この会報の表紙にも【QRコード】を掲載しております。まず、スマートフォンのカメラで読み取り、ホームページの会員名簿からあなたの名前をご確認ください。次に、他の内容も覗いてみてください。

できれば来年度、220名の【会員LINEグループ】を立ち上げ、情報の交流等をしたいと考えています。年に数回の封書連絡だけでなく、常時大美協会員同士が繋がるメリットは大きいはずです。

SNS・AI等、社会は急速に進展しています。遅々とした歩みですが、皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2024年(令和6年度) 第66回 大垣美術家協会展

5月16日(木)～5月19日(日)

大垣市スイトピアセンター文化会館
3階 B・C 4階 A・B

出品点数

- 招待出品 8点
- 日本画 12点
- 洋画 50点
- 書道 45点
- 彫塑工芸 18点
- デザイン 6点
- 写真 40点

合計 179点

入場者数／986名



協力事業

文化フェスティバル2024 第36回 西濃美術展

9月5日(木)～9月8日(日)

大垣市スイトピアセンター文化会館
3階 B・C 4階 A・B

出品点数

- 招待出品 8点
- 日本画 18点
- 洋画 49点
- 書道 49点
- 彫塑工芸 21点
- デザイン 7点
- 写真 46点

合計 198点

入場者数／1,202名





略歴

1946(昭和21)岐阜県養老町出身。大垣南高等学校卒業。武蔵野美術大学で学び、加藤東一に師事。1998年瑞龍寺本堂障壁画完成。翌年岐阜県美術館にて記念展。2007年 日本藝術院賞受賞。2019年 大嘗祭後の大饗の儀に飾る「主基地方風俗歌屏風」を担当する。2023年、大垣市スイティピアセンターでの3度目の個展「有由有縁」を開催。父は日本画家 土屋輝雄(1909-1962)。現在 日本藝術院会員、日展副理事長、金沢美術工芸大学名誉教授・客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授。

最初に、今回のタイトル「有由有縁」という言葉について教えていただけますか。

僕もそんなに昔から知っていたわけじゃないんですけど、川端康成の書で知ったんですよ。仏教用語ですね。我々が出会う人は全部偶然じゃなくて、会うべき人に出会って、我々は人生を生きているという意味なんですね。だから、僕もいろんな方に出会って、今こうやって生きているわけで「有由有縁」ってなんていい言葉だと思ったのがきっかけで、展覧会のタイトルにもしました。

「有由有縁」

画家
土屋 禮一氏

日本画家 日本藝術院会員
日展副理事長 大美協名譽顧問

【聞き手】

大垣市文化事業団 学芸員 村瀬 健

お世話になった加藤栄三先生が、「おまえは東海道五十三次の53の意味を知っているか」って言われましてね。僕は日本橋から京都までの五十三の旅籠を選んで絵にしたんだと思っていたんですが、そうじゃないと言われましてね。華厳經の絵巻で善財童子求道の旅というお話があります。旅をするのは53人に会うためだというので、我々は誰かに出会ったおかげで次の人に出会う。またその人のおかげで次の誰かに出会う。五十三次とは、いろんな方にお世話になりながら最終的に52人と出会い、最後に一番最初に縁のあった方のところに戻る。つまりはお墓参りなんだろうね。僕も5人10人と言われると少なすぎるし、何百人って言われても多すぎるし、52人の人に私の人生を育てられたと思うと、絶



妙な数だと思ってね。個人的に五十三次手帳というのを持っています。この人だけは外せないという人をメモして、時々見返して、あの人を加えなきやとか、この人がいるから、こっちの人は外して良いんじゃないとか。あんな嫌な人って思う人も重要で、そういう人も含めて今58人いるんです。皆さんも新しい手帳に思い出の一人一人をメモしていくと、これから生きていく上で参考になると思います。

人との出会い・縁に意味を感じ、生きる目的にもつながる言葉なのですね。

話の入口ですから、僕の五十三次の一番初めの思い出を話しますとね。子どもの頃の僕は、身体は小さいし、友達も少なく、レンゲ畠に寝転がって空を見ているのが唯一の楽しみのようなところがありました。そんな僕が中学の時に西田先生という人に出会いましてね。先生の試験は藁半紙を配るだけなんですよ。それでお前の知っている北海道のことを書きって黒板に書くんですね。北海道の何々について書けという試験だと答えられないことが多いんですけど、とにかく知っていることをたくさん書けば良い。そうしたら、答案用紙には赤丸が何重にもしてあって「土屋君は北海道の天才だね」って書いてくれたんです。僕はちょっと幸せになっちゃってね。次は東北の試験だというと一生懸命勉強するんです。そして、僕に一番最初に勉強心を育てくれたのが西田先生でした。その西田先生が、僕みたいに人前で自分のことを語れない人だけを集めた弁論部を作ったんです。そこで、身体は小さくても夢は大きいんだっていう自分だけの文章を書くことを指導されました。そうしたら、弁論大会で一席になって、僕は西田先生に出会ったことで、自分というものを表現して良いんだっていう入口をもらいました。



「出現(雷神)」「青空騒ぐ(風神)」

画家としての出会いはいかがですか?

武蔵野美術大学では、いろんな先生に出会いましたが、最終的に今の僕を形作ってくれたのは加藤栄三・東一という岐阜県の先輩との出会いですね。私は良い先生に恵まれて、日展に初めて出したときから入選出来て、落選の経験はなかったんですが、早くから特選なんていう賞を頂いた後に、落選を経験したんです。東一先生に今回は駄目でしたって挨拶に伺ったときに、「おまえはちゃんと力があるんだから、来年は大丈夫だから頑張れよ」って慰めの言葉でもくださると思っていたら、「ああ、知ってる。お前駄目だったらしいな。お前にいい歌を教えてやる。」っておっしゃってね。「春の夜の闇はあやなし梅の花色こそ見えね香やはかくるる(古今和歌集)」という歌を教えてくださったんです。春の夜の真っ暗闇では、梅の花は目には見えない、ただどこからか匂いだけは、匂ってくるという意味です。「どこにいても力があればちゃんと匂ってくるんだよ。お前、まだ力がないんだな」って言われたんです。本当にそうだと思います。僕は寂しさでご挨拶に行ったんだけど、ちょっと嬉しくなってしまいましたね。むしろ帰り道は幸せで、本当だなあ、力さえあれば、どこにいても絶対に実力は匂ってくるものだと思いました。僕は落選の経験が無ければ

こんな幸せな歌には出会えなかった。やっぱり加藤東一という魅力的な先生に出会ったおかげです。

加藤栄三・東一兄弟との出会いは土屋先生の絵描きとしての歩みに特別だったのですね。

東一先生には、「若干の余裕があったら絵の具代に金を使うことが大事だ」と言われ、こんな話を聞きました。それは、まだ東一先生が結婚したての頃、お金がなく、正月をどうやって乗り切ろうかと思い確認すると、今でいう



1万円ほど。どうにか正月のご飯ぐらいは食べれるなと思っていると、玄関のチャイムが鳴ったそうです。そこには、とある美術編集者がいて、彼が言うには、「僕は加藤君について勝手に文章を書いて勝手に掲載しているだけで、頼まれて載せているわけじゃないけど、掲載しているから、君に雑誌を送っている。その雑誌も僕が勝手に送っているんだから、何も言えないけど、2年分の雑誌代金をもらっておらず、僕もちょっと大変なんて、少し誌代を入れてくれないか」とのこと。東一先生は、有り金の半分を彼にお支払いしたそうです。自分は何とかなるかもしれないから、もう少し何とか払うべきだったかなと後悔していると、間もなく、また玄関のチャイムが鳴って、やっぱり足りなくて戻ってこられたと思うと、今度は、根岸

福太郎さんという表具師が立っていたのだと根岸さんが言うには「ご縁のある大会社の社長が今年の業績がとても良かったんだけど、社長は、絵が好きで、立派な先生方の絵を見ながら人生を楽しんでいるおかげで会社の業績も良かったと感じいらっしゃる。こんな収入のあった時には、次の日本画壇を背負うような若い人に少し絵の具代を渡してくれと言われてお金を預けられ、誰に渡そうかと考えた時に、一番初めに東一君の顔が浮かんだから持ってきた。これからいい絵を描くためにこのお金を使いなさい。」ってね。東一先生は、すごい大金をもらったんですって。それはちょっとやそとの額じゃなくて、隣近所の人たちにもお正月の花代を差し上げたりして、とても素晴らしいお正月を過ごすことができたそうです。だから、お金は天下の回りものだから、一生懸命頑張っているとちゃんと回ってくるんだよと言われていました。それから、ずいぶんと年月が流れて、僕も根岸さんとご縁ができる、ある時、東一先生から伺ったこの話になると、根岸さんが「ああ、そんなことありました。ただ土屋さん、あれは真っ赤な嘘ですよ」っておっしゃるんです。実は、そんな奇特な方はそういうものではなく、その社長は、東山魁夷とか加藤栄三とか、当時活躍していた高名な画家の絵を少しでも安く手に入れたくて、絵の具代を届けてくれと頼まれたのだそうです。色々な方に配ったうち、加藤栄三さんのところに行ったら、栄三さんが言うには「根岸さん、あなたが持ってきた話だから、ちゃんと絵を描く。しかし、今頃弟の東一はお金がなくて困っている頃だが、俺がやると言ったって、あいつは絶対に受け取らない。だから、このお金をなんとか東一に届けくれないか」と。困り果てて、何かいい嘘をと考えたのが、このお話だったんですよと聞いたんです。もう何十年も前の話

で、すでに栄三先生も亡くなっていたわけですが、東一先生のところに伺ったときに、このお話を伝えたら、先生、僕の目の前で、声を上げて泣き出しちゃったんだよ。僕は、兄弟ってすごいなと思うと同時に絵を描く同士っていうのはいいなあと改めて思いました。そういう人たちに僕は出会って生きているんだなって。

人は出会い、互いに支え合う。それを体感する出来事ですね。日本画の世界にも繋がることなのでしょうか。

日本画には、受援力って言葉がありますね。日本画の絵の具は、自然の中にある石や土から作っていますから、色である前に性格の方を汲んでいて、人間関係と同じような絵の具なんです。絵の具の性格を理解しないと、絵の具が生きないってことがあってね。だから、絵の具の美しさに助けられ、100号なら100号の大きさに助けられ、10号なら10号の小ささに助けられる。そして、自分以外を理解することで、日本画家は大人になっていくという考え方です。武蔵美の時に、一番可愛がってくれたのが、福田豊四郎って先生でね。福田先生に別れ際に「頑張ります」って言ったら、「頑張るのは当たり前じゃないか。我を早く卒業しなくちゃいかん」って言われたんだ。頑張るは我を張るなんだね。だから、自分にしかできないことに気づいて、それに向かって生きることを精進っていうのは、なるほどなあと思いました。

他にも先達から教えられた言葉というのありますか。

東一先生の話になるけど、僕が人間関係を含めて、ちょっと重く人生を考えている時に、「人生はお前の都合良いようにだけはないし、思うようにだけいかないから人生は

付き合うにはちょっと面白いんだ。これを『妙味』というって先生から教えられましたね。なんか嫌なことがあると、妙味妙味って自分を励ますっていうか逃げるような意味でも使っていました。僕にとって血肉になったとても魅力的な言葉の一つです。哲学者の鈴木大拙は日本人の本質的な根本を「無」と「妙」と書いています。無いということは有るということに繋がり、死を知れば生が分かる。みんなが花火に心惹かれるのも、すぐに消えるからで、生きているっていう一瞬を、命が輝くことを夢さから教わるんだよね。妙味という言葉も、命があるから、死があるから生きる言葉だなと思います。だから、悩むことがあるから、思うことができるわけで、良いことと悪いことは、有由有縁にみんな1セット。だから、僕の考え方は、僕以外の多くの考え方とセットで、光と影のように、山の美しさや、モティーフをどう感じるかとか、僕自身が新しい命に出会うことが絵を描くことだと思っています。



主基地方風俗歌屏風

土屋先生には多忙な中、講演を快諾頂きました。今回の講演は平成23年「描くこと生きること」に続き、2回目となるものです。

受賞作品誌上展

(大垣協会員の内、上位入賞の作品のみ掲載致しました。)

2024 (令和6年)

2024年(令和6年度) 第73回 大垣市美術展

■ 10月19日(土)~10月27日(日)

■ 大垣市スイティアセンター文化会館

展示室3階 C 4階 A.B

●展示数:197点

コロナ禍も少し落ち着き、開場テープカット、各会場での講評会、いつもの見なれた風景となりました。

ただ、応募数の減少が心配です。



表彰式



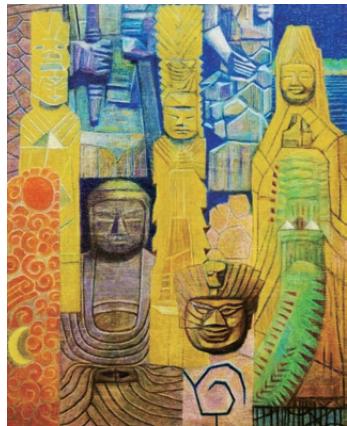
開場式テープカット



会場風景

受賞おめでとうございます

洋画



■市展賞…「造形」石見 節雄

- ◆優秀賞…「晩秋」
所 陽子
- ◆奨励賞…「旺盛」
磯崎 裕子
- ◆奨励賞…「卓上の風景」
飯沼 孝司
- ◆奨励賞…「怒る雷神」
中野 和代
- ◆奨励賞…「田代池の霧氷」
田中 満喜子



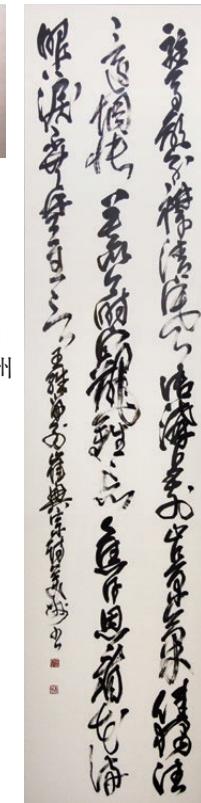
■教育長賞…
「頑張るお父さん」
吉田 美幸

書道



■教育長賞…「うめははや」古橋 葉子

- ◆優秀賞…「八重桜」
原田 由美子
- ◆奨励賞…「曹植詩」
武藤 藤華
- ◆市長賞…
「崔興宗詩」
久保田 美州



彫塑工芸



■市展賞…「陶芸 丸と三角の明りのオブジェ」

澤村 典子



■市長賞…「能面 阿吽(飛出・癒見)」
藤原 建治



■教育長賞…「彫り絵 雲間の峰」

吉田 佐代子

◆優秀賞…「能面 獅子口(観世型)」大江 英

◆奨励賞…「七宝 夕日と共に家に帰ろう!!」古田 則子

日本画



■市展賞…「秋茄子」

野田 祥子



■教育長賞…「おおきなクスノキ」
宵一

◆奨励賞…「ひすいちゃん」
ちよこあ

写真



■市展賞…「蔦沼の朝焼」

片山 嘉明



■教育長賞…「渓谷に咲く」

中野 淑人

- ◆奨励賞…「千秋楽」
北嶋 敏和
- ◆奨励賞…「静寂の朝」
小竹 久子
- ◆奨励賞…「デニムの街道遙」
高木 早苗
- ◆奨励賞…「冴え返る」
蒔苗 友紀

おくやみ 会員 伊藤 恭子 様 (日本画)
会員 服部 勝彦 様 (書道)

ご冥福をお祈り致します。



豊田市美術館・トヨタ博物館 見学

迷走台風10号により、開催日が変更。

29名の参加となりましたが、曇り空の中、楽しく、無事行くことが出来ました。



豊田市美術館正面にて
「しないでおくこと。—芸術と生のアナキズム」鑑賞



屋上庭園



楽しくショップでお買い物



カクキュー八丁味噌にて味噌樽の迫力に圧倒される



饅に舌鼓



トヨタ博物館にてクラシックカーからEVまで、車の歴史を辿りました



ワインテッサホテル大垣 3階 [ソーレ]



境会長挨拶



新しい仲間が増えました
「よろしくお願いします。」



久野理事長挨拶



棚橋衆議院議員
ご祝辞



石田大垣市長
ご祝辞



小川大垣市文化事業團
理事長による乾杯

令和7年 大垣美術家協会新年互礼会



ご来賓・賛助会員の方々



歓談風景



bingo 賞品GET!

